

ジュニア科学クラブ  12

冬休みの天体観察

火星に注目！

火星は地球と同じく太陽の周りを回る惑星の一つですが、地球のすぐ外側の軌道なので、地球から近い時と遠い時との距離の差が大きく、距離が近い時はとても明るく見えますが、距離が遠くなるとそれほど明るくない星になってしまいます。

この冬は、年明けの1月12日に火星がいちばん接近する日になっていて、火星が明るく見えます。12月から1月にかけて、火星はじわじわと明るくなっていきますし、また、地球との位置関係が変化するので、まわりの星座の星との位置関係も変わります。お天気の良い日に何回か観察して、明るさや位置の変化を確かめてみましょう。

金星、木星、土星も見えている

今年の冬は、火星だけでなく、金星、木星、土星も宵の空に見えています。どれも太陽の周りを回る惑星なので、何日かかけて観察すると、火星と同じくまわりの星との位置関係が変化するのですが、土星と金星は近くに目立つ星が少ないので、位置の変化が分かりにくいかもしれません。冬休みの間、金星と土星はだんだん近づいていきますので、1月になると金星の動きが気付きやすいでしょう。また、1月3日～5日にかけては、月が金星や土星の近くに來ます。夕方の早い時間に観察してみてください。

木星は、火星に比べると地球から離れているので、まわりの星と比べた時の木星の動きはゆっくりですが、おうし座のアルデバランなど、目立つ星が近くにあるので、1週間2週間観察を続けると、位置の変化が

わかるでしょう。

流れ星見えるかな？

毎年1月3日ころに、しぶんぎ座流星群りゅうせいぐんという流星群が活動します。この冬の観察のチャンスは1月4日の明け方で、朝の4時～5時ころがオススメの時間帯です。しぶんぎ座流星群は、他の流星群ちがと違って、前後の日にはほとんど流星が見られません。4日の朝に晴れるようならば、がんばって早起きしたら、流れ星を見つけられるかもしれません。

観察は安全な場所で、寒さ対策もしっかりと！

天体観察を行うときは、必ず安全な場所で行いましょう。公園などで観察するときは、大人の人と一緒に観察いっしょしましょう。道路のわきや駐車場ちゆうしゃじょうなど、車が来る可能性のある場所での観察はぜったいにやめましょう。

また、冬の夜はとても寒いです。とくに、よく晴れた日の夜はおどろくほど冷え込むことがあります。風邪かぜをひかないように十分厚着をして星空を観察しましょう。

いいやま おおみ(科学館学芸員)

■12月のクラブ■

12月15日(日) 10:10 ~ 10:45

◆集 合：プラネタリウムホール(地下1階)

9:30～9:55の間に来てください

◆もちもの：会員手帳・会員バッジ

◆内 容：10:10～10:45 プラネタリウム「冬休みの天体観察」見学

- ・途中からは入れません。ちこくしないように来てください。
- ・プラネタリウムは、一般の方と一緒に見学していただきます。ご家族の方も、観覧券をご購入のうえ ご覧いただけます(※満席の場合はご覧いただけません)。
- ・12月のクラブでは、「てんじ場たんけん」は行いません。

※クラブ当日についての詳細は、科学館公式ホームページのお知らせ欄
(<https://www.sci-museum.jp/>)または右の2次元コードよりご確認ください。
また、科学館の最新情報も合わせて科学館公式ホームページにてご確認をお願いします。



この2ページはジュニア科学クラブ(小学校5・6年生を対象とした会員制)のページです。